

令和7年板橋区内犯罪認知件数（令和7年1月1日～5月31日）

		刑法犯 総計	各種犯罪							自転車盗
			計	特殊詐欺	侵入窃盗	強盗	性犯罪	自動車盗	子供に対する犯罪	
板橋区内 (区内3署)	認知件数	1,355	132	76	21	6	24	3	2	431
	前年比	+142	+3	+9	-9	+3	+4	-1	-3	+84

※ 認知件数にあつては手集計

※ 「子供に対する犯罪」とは、小学生以下を被害者とする殺人、強盗、不同意性交、暴行、傷害、脅迫、恐喝、不同意わいせつ、略取誘拐及び人身売買をいう。

《令和7年5月までの各種犯罪の発生状況等について》

- 板橋区内の刑法犯認知件数は1,355件となっており、前年同期比で142件増加している。
コロナ禍で一時的に減少していた認知件数が、コロナ禍以前の水準に戻りつつある。
- 各種犯罪の総認知件数は、前年同期比で若干増加している。個別には、特殊詐欺、強盗、性犯罪、自転車盗の認知件数が増加している。
- 特殊詐欺被害が、前年同期比9件増加と依然として多く発生し、予断を許さない状況である。
特殊詐欺被害の傾向として、警察官や携帯電話会社を騙った手口が多く占めており、30代～40代の若い年代の被害も多く発生した。犯人からの電話の約7割以上が海外からの電話であるため、国際電話の利用停止サービス（無償）の呼び掛けや申し込み依頼を強力に推進している。
- 自転車盗の認知件数が431件であり、前年同期比84件と大きく増加している。
駅や商店街周辺の駐輪場や路上において、無施錠での駐輪による被害が多数を占めている。
防犯登録（義務）の必要性や駐輪時の確実な施錠や「ツーロック」の必要性を呼び掛けている。
- 子供に対する犯罪、侵入窃盗、自動車盗の認知件数は減少している。
子供や女性に対する声かけ・つきまとい等の発生時、「メールけいしちょう」によりタイムリーに犯罪発生情報・防犯対策情報を発信して注意喚起を行っている。また、町会・自治会等と連携し、防犯パトロールや高齢者宅への個別訪問を実施している。
- 増加傾向にある強盗、特殊詐欺は、少年が「犯罪実行者募集情報」、いわゆる「闇バイト」と呼ばれる高額報酬を謳った求人に応募し、重大な犯罪に加担してしまうことが社会問題となっている。
少年が知らぬ間に「闇バイト」に引き込まれることがないように、防犯教室や非行防止教室等を開催し、特に小学校高学年のような、より早い段階の年齢層に対して、「バイトではなく、犯罪である」とことや、「犯罪に加担することの恐ろしさ」等について広報啓発し、正しく行動するといった倫理観や規範意識の醸成とともに、その危険性について浸透させていく。